

平成27年1月6日

保険薬局（堺市） 各位

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
薬剤科長 小林 勝昭

吸入指導における薬薬連携のお願い

平素は当センターの院外処方箋発行にご協力賜り誠に有難うございます。

当院は呼吸器疾患の専門施設であり、COPD や慢性気管支喘息の患者様が多数受診されており、その治療薬として各種吸入薬の処方も多くあります。ご承知のとおり、吸入薬では薬剤の吸入が不十分であると期待する効果も減弱します。そこで患者様への吸入指導が重要となります。

当センターでは、外来患者様の中で吸入薬の使用が初めての場や吸入薬が変更となった場合は、当センターの薬剤師が吸入指導を行っています。一方、当センターは全面院外処方箋を発行していることから、効果的な吸入指導を行うためには当センターと保険薬局の連携が欠かせないと考えております。

つきましては、平成27年1月より患者様が保険薬局に来局した際に吸入指導の確認とその評価をしていただき FAX でお送り下さるようお願いいたします。（詳細は下記をご覧ください）

以上のことをご理解賜り、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、当院ホームページに吸入指導マニュアルを掲載しておりますのでご活用下さい。

記

吸入指導の確認と評価表の FAX 送信について

<対象患者様>

外来患者様で吸入薬の使用が初めての場や吸入薬が変更となった場合等

<手順>

病院側

- ① 当院薬剤師が練習器具を用いて吸入指導を行う。
- ② 患者様に練習器具と吸入指導依頼書をお渡しする。



(院外処方箋発行)

保険薬局側

- ③ 患者様に練習器具を用いて吸入練習をしていただく。
- ④ 保険薬局の薬剤師様は吸入手技の確認と、「吸入手技の評価表」（別紙）を記入し、当院に FAX していただく。

* FAX 072-250-4034 （近畿中央胸部疾患センター 薬剤科）

以上